

## 米国 予想上振れも製造業部門は緩やかな拡大（13年6月ISM製造業景気指数）

発表日：2013年7月1日（月）

～住宅、自動車部門が下支え～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

### ISM製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
12/07	50.5	47.5	53.3	53.2	49.0	49.7	43.0	39.5	46.5	50.5
12/08	50.7	48.9	48.9	52.6	53.0	50.2	42.5	54.0	47.0	49.0
12/09	51.6	51.7	51.4	53.7	50.5	50.5	44.0	58.0	48.5	49.5
12/10	51.7	52.8	53.3	52.3	50.0	49.9	41.5	55.0	48.0	47.5
12/11	49.9	51.1	53.1	50.1	45.0	50.1	41.0	52.5	47.0	48.0
12/12	50.2	49.7	52.6	51.9	43.0	53.7	48.5	55.5	51.5	51.5
13/01	53.1	53.3	53.6	54.0	51.0	53.6	47.5	56.5	50.5	50.0
13/02	54.2	57.8	57.6	52.6	51.5	51.4	55.0	61.5	53.5	54.0
13/03	51.3	51.4	52.2	54.2	49.5	49.4	51.0	54.5	56.0	54.0
13/04	50.7	52.3	53.5	50.2	46.5	50.9	53.0	50.0	54.0	55.0
13/05	49.0	48.8	48.6	50.1	49.0	48.7	48.0	49.5	51.0	54.5
13/06	50.9	51.9	53.4	48.7	50.5	50.0	46.5	52.5	54.5	56.0

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

### ISM製造業景気指数は50.9と前月比1.9%ポイント上昇

13年6月のISM製造業景気指数は、50.9と前月比+1.9%ポイント上昇し市場予想を上回った（市場予想中央値50.5、筆者予想50.9）。住宅や自動車関連での需要拡大を背景に、拡大縮小の分岐点である50を2ヵ月ぶりに上回り、製造業が拡大に転じたことを示した。ただし、歳出削減や欧州・中国などの需要の弱さにより、水準は低く製造業部門の緩やかな拡大を示唆している。

総合指数への構成項目別の寄与度をみると、雇用（前月比▲0.3ポイント）がマイナス寄与となった一方、主要項目の生産（前月比+1.0%ポイント）や新規受注（前月比+0.6%ポイント）のほか、在庫（前月比+0.3%ポイント）、入荷遅延（前月比+0.3%ポイント）が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比+1.9%ポイント上昇した。雇用の拡大に慎重な企業が増加した一方、内外からの新規受注が小幅増加し、生産も拡大に転じた。

### 活動の拡大した業種は12業種

活動の拡大した業種数は、全18業種中12業種（前月10業種）と増加した。拡大した業種（拡大を続けた業種には下線）は、家具・同関連製品、アパレル・皮革・同製品、紙製品、電気装置・同機器・同部品、石油・石炭、木材製品、食品・飲料・タバコ、一次金属、加工金属、プラスチック・ゴム、一般機械、非鉄。一方、縮小した業種は、繊維、輸送機械、化学製品、コンピューター・電子機器の4業種（前月6業種）となった。その他製造業、印刷・同関連支援は変わらず。

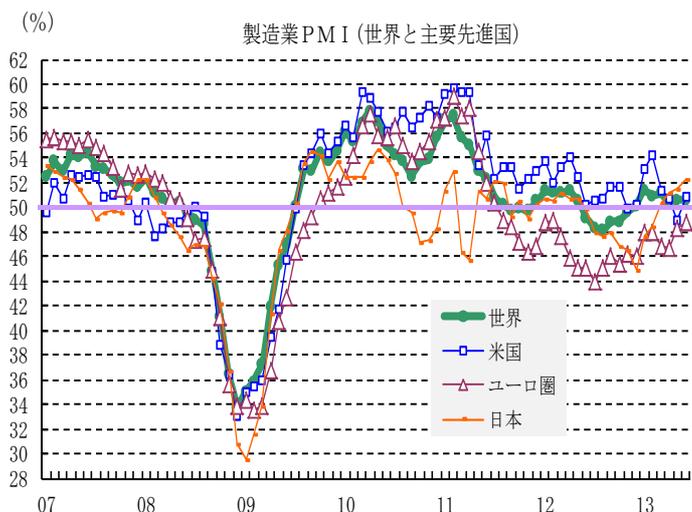
(注) 下線は拡大を続けた業種

**世界製造業PMIは7  
ヵ月連続で50を上回っ  
たものの水準は低い**

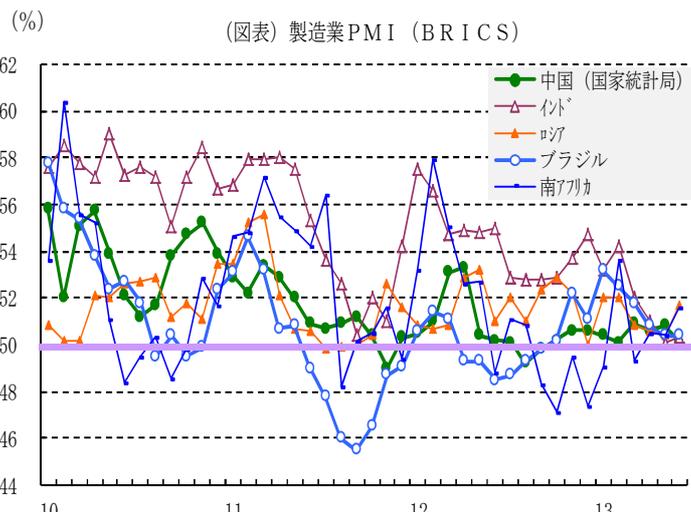
6月の世界製造業PMIは50.6（前月50.6）と7ヵ月連続で50を上回ったが、水準は低く、拡大モメンタムは弱いままである。グローバルな製造業部門の調整が終了したものの、欧州や新興国など需要の弱い国の影響等を受けており、緩やかな拡大にとどまっている。

\*50を下回った国は、ユーロ圏、中国（HSBC、中小企業中心）、豪州、ポーランド、韓国、台湾、ベトナム、メキシコなど。

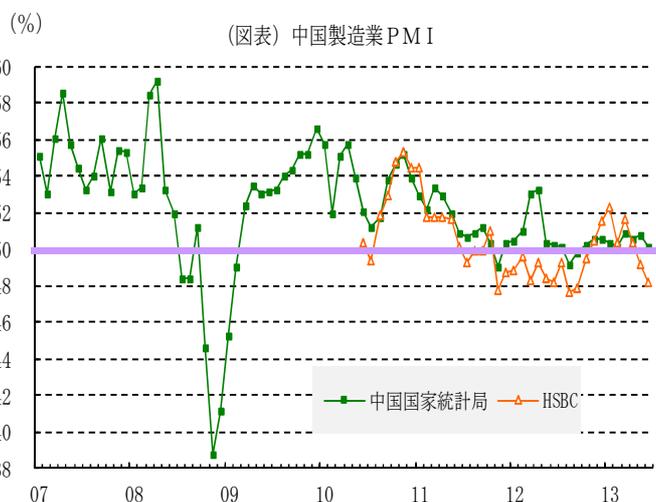
一方、50を上回った国は、米国、日本、中国（国有企業中心）、英国、アイルランド、ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、チェコ、インド、ロシア、ブラジル、南アフリカ、トルコ、ハンガリー、インドネシア、カナダなど。



(出所) ISM, Markit Economics



(出所) Markit



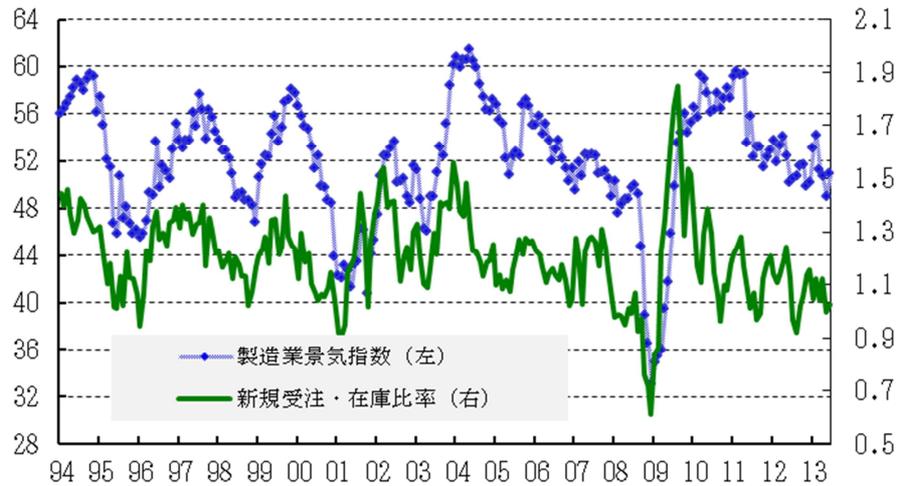
(出所) 中国物流購入連合会, Markit

**今後、ISM製造業景気  
指数は製造業部門の緩や  
かな拡大を示す水準で推  
移する見込み**

今後に関しては、歳出削減のほか、欧州や中国経済の停滞の影響を受けるものの、米国企業が過剰な在庫や雇用を抱えていないほか、自動車、住宅関連主導で緩やかながらも持続する米国内需要の成長などに下支えされ、ISM製造業景気指数は製造業部門の緩やかな拡大を示す水準で推移すると見込まれる。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

ISM製造業景気指数と新規受注・在庫比率の推移



(出所) I S M

**輸出が先行き持ち直すことを示唆**

輸出受注DIは、6月に54.5と前月比+3.5%ポイント上昇し、拡大縮小の分岐点である50を7ヵ月連続で上回った。世界的な景気回復の動き等を背景に、輸出は先行き持ち直すものの緩やかなペースになることを示唆している。

**各国の米国向け輸出は今後加速する可能性**

輸入DIは、6月に56.0と前月比+1.5%ポイント上昇した。拡大縮小の分岐点である50を上回っていることから、日本など先進国、BRICS等の新興国の米国向け輸出の拡大ペースが今後加速する可能性を示唆している。

**雇用DIは6月の製造業雇用の減少を示唆**

雇用DIは、6月に48.7と前月比▲1.4%ポイント低下しており、製造業部門雇用者数の減少を示している。今後、米国経済や政策の先行き不透明感、価格競争の激化によるコスト削減圧力を背景に、製造業部門での雇用の回復ペースは鈍い状況が続こう。

**仕入価格DIは川中でのインフレ圧力の弱まりを示唆**

仕入価格DIは、商品市況の下落やドル高の効果等によって、6月に52.5と前月比+3.0%ポイント上昇したものの、水準が低いことから、川中でのインフレ圧力は弱いままと判断される。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。